





二月十三日  
火曜日  
於慶良原

○六。○。○。六。一。○。○。七。三。○。○。八。○。○。

一人馬更動出張安心院少尉以下二十九名馬正四二頭

帰隊真島曹長以下二十八名馬正四二頭

現員将校以下士官九名兵六名計七十八

計五十七

一。○。六。○。○。起亦直三作業開始

各分隊兵士名簿終南ノ指揮一既全構築ヲ續行

其他全員ヲ以テ陣地構築作業ヲ徹宵續行ス

一。四。○。○。情報良便敵機動部隊ヲワレトシテ

「下下ニシテ」方面ヨリ出張新ナル大攻撃ノ敵アリ

明朝未動衆ヲ集メテ

一。四。三。○。某日四師團第一野戦病院ヨリ官平一等兵込虎

帰隊ス

一。一。一。○。諸見軍彈藥搬送

兵師隊ス

一。一。七。○。ヨリ各分隊馬正ノ待避火砲ノ掩蔽装具ノ待

避其ノ他空襲ニ対スル対策ヲ遺憾ナク様實地ニ

掩蔽所完成シテ夜間作業ヲ全員ヲ以テ實地火砲

又掩蔽所内ニ收容ス

一。一。○。○。諸見軍彈藥搬送

心院方尉以下二十九名帰隊直彈藥ノ荷卸並ニ整理

ヲ實施ス

一。九。九。○。命令ヲ受領ス

砲作命令第七號

砲兵後命令

二月十四日。至。以降敵機爆撃ヲ集メテ

一部隊ハ兵器資材ヲ保存シテ敵機未襲ニ備

三隊部各中隊ハ明日四日ヲ以テ。丙隊戰備ニ移行  
 一。五ノ下共ニ兵器資材ハ所在ハ洞窟ヲ利用シ格  
 納スルニテ。兵舎ハ擬裝馬匹ハ遠敵ヲ充足ス  
 今實施ニ敵機ニ對シテ損害ヲ防止スヘシ

砲隊ヲ命テ。砲隊長ヲ派シテ。大  
 砲ヲ命テ。砲隊長ヲ派シテ。大  
 砲ヲ命テ。砲隊長ヲ派シテ。大

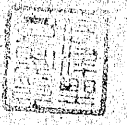
五ノ下共ニ兵器資材ハ所在ハ洞窟ヲ利用シ格  
 納スルニテ。兵舎ハ擬裝馬匹ハ遠敵ヲ充足ス  
 今實施ニ敵機ニ對シテ損害ヲ防止スヘシ

線通信ニ任スヘシ  
 三。與ハ本部ニ於テ担任スヘシ

砲隊長  
 大

一人尙運動部隊  
 現員ヲ按四下士官九 兵九六 計一〇九

計九九



一月十四日  
 水曜日

曇  
 於慶良原

一。〇。三。昨夜未續行中ノ砲隊所構築終了歸隊  
 一。〇。四。〇。起亦直下ニ裝具類ヲ所駐ハ洞窟内ニ待避  
 七レメ半數人員ヲ以テ馬匹ヲ待避セシム

右待避完了後各陣地構築ヲ續行各分隊兵一名勞  
 務者ヲ指揮シテ。砲令連發ヲ續行

各作業ヲ引續キ徹宵續行  
 一。〇。五。三。警戒警報及丙隊戰備下令  
 一。〇。八。〇。演習兵等兵請見里歌醫材科運搬ノ夕又出  
 張ス

一。二。三。〇。請見里彈藥積込ノ夕又出張中ノ守都上兵



一三〇。旅團長陣地情況巡視ル本職主會説明ス  
一五〇。歸隊輸送ノ夕諸見里出張中ノ濱田上等兵  
歸隊ス

一八〇。羽地敷置中山口衛生兵歸隊ス  
一九〇。命令ヲ受領ス

司令  
陸軍中尉 安樂芳太郎  
副官 陸軍曹長 星子 純郎

頭書ノ通り 自二月十七日 間週番勤務ニ服ス

一先記命令ヲ下達ス

中隊命令

一週番士官 陸軍少尉 安心院 勘右衛門

週番下士官 陸軍兵長 金 良 栄 英

週番上等兵 陸軍上等兵 上 原 在 孝

頭書ノ通り 自二月十七日 間週番勤務ヲ命ス

一人馬異動 歸隊 濱田上等兵以下二名

現員將校四 下士官九 兵九 計十一

馬五 計九

一〇六〇。起床同時ニ作業開始

各分隊ニ名ヲ以テ勞務者ヲ指揮シ 既合建築作業

續行

其ノ他全員ヲ以テ陣地及觀測所構築續行引續キ

撤消作業ヲ實施ス

一〇八〇。歸隊輸送ノ事以下四名諸見里ヨリ自動貨車

ニ依リ彈藥輸送ヲ實施ス 一七。歸隊



二月十七日  
土曜日  
於慶良原

一〇九五〇警戒警報(丙隊戦備)解除  
一〇九〇ヨリ一七〇間旅團工兵隊十三名陣地構築應  
援シクメ来隊ス

一〇九一〇警戒警報(丙隊戦備)解除  
一〇九二〇警戒警報(丙隊戦備)解除セラル

二部隊ハ丁辨戦備ニ移行スルト共ニ現任務ヲ續行  
セントス

三本部隊中隊ハ予メ指示セル如ク陣地構築ヲ促進  
スルニシテハ又ハレ

命令下達迄 命令受領者ヲ兼メテ遺筆記セレム  
一現更將校以下上官九 兵九八 計一八一

原 大 尉  
計 九 九



一月十日  
日曜日

於慶良原

一前夜来引續キ徹宵作業ヲ續行  
各分隊兵二名ヲ以テ勞務者ヲ指揮シ既令建築並ニ

巨根用草刈ヲ實施  
其他全員ヲ以テ陣地及觀測所構築ヲ續行

引續キ徹宵作業ヲ實施ス  
一五三〇羽地設置者猪八達一尋丈以下一名諸見里設置

者澤岬兵長歸隊  
一〇九四〇ヨリ一七〇間工兵隊十三名陣地構築應援

シクメ来隊ス  
一〇九一〇警戒警報(丙隊戦備)解除

一〇九二〇警戒警報(丙隊戦備)解除セラル  
二部隊ハ丁辨戦備ニ移行スルト共ニ現任務ヲ續行

軍中目録

二月十八日 大川